

- 問1 織田信長などの戦国大名が、キリスト教の布教を許可し、南蛮文化を積極的に受け入れた背景にある理由として最も適切な説明はどれですか。

(2016年 大分県公立入試 類似)

1. 南蛮貿易を通じて鉄砲や火薬などの軍事物資を調達し、天文学や医学などの新しい知識を取り入れるため。

2. ヨーロッパ諸国と軍事同盟を結び、中国（明）を征服するための直接的な援軍を求めたため。

3. 簡素で気品のある桃山文化を否定し、すべての生活様式をヨーロッパ風に統一することで民衆を支配するため。

4. キリスト教の教えが日本の伝統的な仏教勢力と密接に連携していたため、寺社の力を利用しようとした。
- 問2 1575年、織田信長が徳川家康と連合し、当時最強と謳われた武田勝頼の騎馬軍団を破った戦いがあります。この戦いにおいて織田軍がとった、戦国時代の戦術を大きく変えるきっかけとなった行動として正しいものはどれですか。

(2021年 大阪府公立入試 類似)

1. 奇襲によって総大将が滞る本陣を直接攻撃し、短時間で勝利を収めた。

2. 川の流れをせき止めて敵の城を水没させる、いわゆる「水攻め」を行った。

3. 大量の鉄砲を組織的に用い、馬防柵を築いて敵の突撃を防ぎながら攻撃した。

4. 大規模な艦隊を編成し、大筒（大砲）を用いて海上から敵の背後を突いた。
- 問3 戦国時代の交通と経済に関する記述として、織田信長が行った政策の背景や意図を説明したものとして適切なものはどれですか。当時の軍事・経済的な状況を踏まえて選びなさい。

(2022年 山口県公立入試 類似)

1. 農民の移動を厳しく制限し、土地に縛り付けることで年貢を確実に徴収しようとした。

2. 外国船が日本各地の港に自由に寄港できるよう、各地の検問をすべて撤廃した。

3. 物資の輸送や家臣との連絡を迅速にするため、道路整備とあわせて交通の障壁を取り除いた。

4. 有力な農民から武器を取り上げて反乱を抑え、農村の秩序を安定させようとした。
- 問4 太閤検地と刀狩が後の日本社会に与えた影響について、武士と農民の関係性から述べたものとして正しいものはどれですか。

(2023年 石川県公立入試 類似)

1. 武士と農民の身分の区別が明確になり、農民が武士へと昇格する機会が制限された

2. 武士が農村に住み続けて農業を管理する仕組みが強化され、都市化が抑制された

3. 農民が自らの土地を自由に売買できるようになり、武士の支配から独立した

4. 農民が自衛のために武器を持つことが奨励され、武士との協力関係が築かれた
- 問5 16世紀のヨーロッパでは、ローマ・カトリック教会の腐敗を批判し、信仰のあり方を問い直す大きな運動が起こりました。ドイツのルターが免罪符（贖宥状）の販売を批判したことから始まったこの運動の内容と影響について説明したものとして、最も適切なものはどれか。

(2015年 佐賀県公立入試 類似)

1. カトリック教会の権威を高めるために、教皇の呼びかけで聖地エルサレムを奪還するための軍隊が派遣された。

2. ルターが聖書を信仰の唯一のよりどころとするよう説き、この動きはやがてプロテスタントと呼ばれる新教の誕生につながった。

3. ルネサンスの精神に基づき、キリスト教の教えを一切否定して、科学と理性のみを信じる世俗的な社会が形成された。

4. フランスにおいて、市民が絶対王政を倒して人権宣言を発表し、キリスト教を国教から除外する政治改革が行われた。
- 問6 11世紀末から始まった十字軍の遠征ののち、16世紀のヨーロッパではキリスト教の世界を大きく揺るがす出来事が相次ぎました。これらに関する出来事を、時期の早いものから順に正しく並べたものはどれですか。

(2015年 大分県公立入試 類似)

1. ルターによる宗教改革の開始 → イエズス会の結成 → 十字軍の結成

2. 十字軍の結成 → ルターによる宗教改革の開始 → イエズス会の結成

3. 十字軍の結成 → イエズス会の結成 → ルターによる宗教改革の開始

4. ルターによる宗教改革の開始 → 十字軍の結成 → イエズス会の結成
- 問7 織田信長が掲げた「天下布武」というスローガンが示す、彼の政治的な目的についての説明として最も適切なものはどれですか。

(2017年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 幕府の法典を整備し、裁判を公平に行う基準を定めること

2. 仏教勢力と協力し、宗教的な権威を利用して民衆を統制すること

3. 全国の土地の広さや質を調査し、農民から確実に年貢を徴収すること

4. 武力によって全国を統一し、自らの権力によって日本を統治すること
- 問8 マゼランの船団が、ポルトガルが既に開拓していたアフリカ南端経由の東回り航路ではなく、あえて西回りの航路でアジアを目指した当時の背景として最も適切な説明はどれですか。

(2015年 大分県公立入試 類似)

1. 教皇子午線（トルデシヤス条約）により、スペインはアフリカ沿岸を通る航路の利用を一切禁止されていたため

2. 羅針盤の技術が未熟だったため、海岸線沿いに進む東回り航路よりも外洋を横断する方が安全だと考えられたため

3. 大西洋の西側に巨大な金銀の島が存在するという確実な地図が、スペイン王室に伝わっていたため

4. スペインがポルトガルの勢力圏を避けつつ、香辛料の産地であるアジアへの独自ルートを確保しようとしたため
- 問9 16世紀のドイツにおいて、神学者のルターがローマ教皇庁による「免罪符（贖宥状）」の販売を批判したことをきっかけに始まった運動を何といいますか。

(2022年 愛知県公立入試 類似)

1. ルネサンス

2. 大航海時代

3. 宗教改革

4. 十字軍
- 問10 当時の交流の様子を伝える資料には、西洋風の服装をした人々や、東南アジアを経由して日本に持ち込まれた珍しい動物が描かれています。この貿易によって日本にもたらされ、当時の文化や社会に影響を与えた要素の組み合わせとして正しいものはどれですか。

(2020年 神奈川県公立入試 類似)

1. イスラム教の伝播と、香辛料や綿布の栽培技術

2. 仏教の新しい宗派と、かな文字による文学の発達

3. 儒教の教えと、水墨画や寒天などの大陸文化

4. キリスト教の布教と、活版印刷術や時計などの西洋技術
- 問11 織田信長が天下統一事業の拠点として、琵琶湖の東岸に築いた城郭を何といいますか。近世における城郭建築の先駆けとなり、高くそびえる豪華な天守を備えて自身の権威を象徴した城の名称を選びなさい。

(2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 安土城

2. 江戸城

3. 大阪城

4. 姫路城
- 問12 15世紀後半から始まった新航路の開拓において、当時のヨーロッパ諸国が、危険を冒してまでアジアへの直接航路を求めた主な目的として適切なものはどれですか。

(2022年 栃木県公立入試 類似)

1. イスラム教の聖地であるエルサレムを奪還するための軍事拠点を確保するため

2. アメリカ大陸で栽培が始まったジャガイモやトウモロコシをアジアへ輸出するため

3. 産業革命によって大量生産された綿織物を、アジアの広大な市場で販売するため

4. 肉の保存や調味料として極めて高価であった香辛料を、直接安く手に入れるため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 南蛮貿易を通じて鉄砲や火薬などの軍事物資を調達し、天文学や医学などの新しい知識を取り入れるため。	戦国大名にとって、キリスト教の保護は南蛮貿易による利益を得るための重要な手段でした。貿易を通じて、戦いに不可欠な鉄砲や火薬を安定して入手できるだけでなく、医学や航海術といった高度な西洋知識を取り入れることが、勢力の拡大や領国経営において大きな利点となったためです。
問2	答え 3 大量の鉄砲を組織的に用い、馬防柵を築いて敵の突撃を防ぎながら攻撃した。	長篠の戦いでは、織田信長が大量の鉄砲を用意し、それを組織的に運用することで、当時無敵とされた武田の騎馬隊を圧倒しました。火縄銃の欠点である「次弾装填までの時間」を補うための工夫や、馬の突撃を止める柵の設置など、合理的な戦術が勝敗を分けました。
問3	答え 3 物資の輸送や家臣との連絡を迅速にするため、道路整備とあわせて交通の障壁を取り除いた。	信長は領国内の道づくりを積極的に進め、それまで各地の勢力が通行料を徴収するために設けていた関所を廃止しました。これにより、商人の自由な往来による経済の活性化だけでなく、戦時における軍隊の移動や家臣との迅速な情報伝達が可能になり、軍事面でも大きな利点を得ることができました。
問4	答え 1 武士と農民の身分の区別が明確になり、農民が武士へと昇格する機会が制限された	一連の政策によって「武士は城下町に住む統治者」「農民は村に住む生産者」という役割分担が徹底されました。これにより、戦国時代のように実力で身分を駆け上がる「下剋上」の風潮が収まり、社会構造が固定化されることとなりました。
問5	答え 2 ルターが聖書を信仰の唯一のよりどころとするよう説き、この動きはやがてプロテスタントと呼ばれる新教の誕生につながった。	16世紀、ドイツのルターは、教会が資金集めのために販売していた「免罪符（贖宥状）」を批判し、人間が救われるのは教会の儀式ではなく聖書に記された神の言葉を信じることのみであると主張しました。これが宗教改革の始まりであり、従来の旧教（カトリック）に対して新教（プロテスタント）が成立するきっかけとなりました。
問6	答え 2 十字軍の結成 → ルターによる宗教改革の開始 → イエズス会の結成	まず11世紀末に、聖地エルサレムの奪還を目指して十字軍が結成されました。その後、16世紀に入るとドイツのルターが教会のあり方を批判して聖書を重視する宗教改革を始めました。この宗教改革の広がりを受けて、カトリック教会側が勢力の立て直しと海外布教のために結成したのがイエズス会です。
問7	答え 4 武力によって全国を統一し、自らの権力によって日本を統治すること	「天下布武」の「布」には、広く行き渡らせる、あるいは敷くという意味があります。これは、単に武力で敵を倒すだけでなく、武士の力による新しい政治体制を日本全国に確立しようとする信長の統治構想を象徴しています。彼はこの方針のもと、室町幕府の将軍を追放し、中世的な権威に縛られない独自の政権運営を目指しました。
問8	答え 4 スペインがポルトガルの勢力圏を避けつつ、香辛料の産地であるアジアへの独自ルートを確保しようとしたため	大航海時代、高価な香辛料を求めて欧州諸国はアジアを目指しました。アフリカ南端を経由する東回り航路はポルトガルが独占していたため、後発のスペインは反対方向である西回りの航路を開拓することで、自国の利益を確保しようとしてしました。トルデシリャス条約は勢力圏を分けるものでしたが、未知の西回り航路にかけたのは経済的・政治的な対抗意識が背景にあります。
問9	答え 3 宗教改革	16世紀のドイツで、マルティン・ルターがローマ教皇庁による免罪符（罪の許しが得られるとして販売された証書）の販売を「95か条の論題」で批判したことが始まりです。この運動は、カトリック教会の権威を否定し、聖書を中心とした信仰を説くプロテスタント諸派を生み出すきっかけとなり、ヨーロッパの社会や政治に大きな影響を与えました。
問10	答え 4 キリスト教の布教と、活版印刷術や時計などの西洋技術	南蛮貿易に付随して、宣教師らによってキリスト教だけでなく、活版印刷術、時計、眼鏡、天文、医学などの西洋の知識や技術が日本に伝えられました。これらは「南蛮文化」と呼ばれ、当時の日本人の生活や世界観に大きな影響を与えましたが、後の江戸幕府による禁教政策によって厳しく制限されることとなります。
問11	答え 1 安土城	織田信長は、足利義昭を追放して室町幕府を滅ぼした後、天下統一に向けた拠点として近江国の琵琶湖東岸にこの城を築きました。それまでの戦いのための山城とは一線を画し、高い石垣の上に豪華な天守を構えるなど、視覚的に支配者の権威を示す新しい城のあり方を提示しました。この城を中心に展開された文化は、後の桃山文化の形成に大きな影響を与えています。
問12	答え 4 肉の保存や調味料として極めて高価であった香辛料を、直接安く手に入れるため	当時、コショウなどの香辛料は、アジアから陸路を経由して運ばれる間に多くの中間搾取を受け、ヨーロッパでは同じ重さの金と交換されるほど高価でした。そのため、海路を使って産地から直接買い付けることで、莫大な利益を得ようとする動きが強まりました。